平成26年　　アクションプランの実施内容報告

平成26年12月16日

平成26年度　志津見ダム水源地域ビジョン　実施内容

アクションプラン凡例：
- H25当初計画プロジェクト
- H25以降追加プロジェクト

基本方針	テーマ	分類	分類	実施時期	アクションプラン	H26実施内容
1．美しいふるさとづくり	Ⅰ．水源地域の景観形成	1．水源地域の景観向上	①－1	先行	河川と道路の景観保全活動	1．除草等の区域、時期、頻度や役割分担の明確化（協議中） 2．生活拠点施設～うぐいす茶屋間での草刈やゴミ拾い 3．企業CSR
			①－2	先行	クリーンウオーク（景観保全活動に含む）	－
			①－4	先行	草刈り研修会（景観保全活動に含む）	－
			①－3	先行	町有林による景観美化	－
		2．牧歌的な風景づくり	②－1	中期	家畜の放牧	1．牛舎建設候補地の調査
		3．四季の彩りフラワーバレー	③－1	中期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	－
			③－2	中期	フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備	－
			③－3	先行	彩りの森の紅葉をライトアップ	1．紅葉のライトアップ
			③－3	追加	志津見ダムのライトアップ	1．彩りの森ライトアップにあわせ志津見ダムのライトアップ
			③－4	中期	一軒一鉢運動を展開	－
	Ⅱ．自然環境の保全活用	4．神戸川エコロジカル ネットワーク	④－1	先行	水生生物による簡易水質調査の実施	1．出雲市内の小学生親子によるヤマメの学習＆体験事業
			④－2	先行	自然観察会	－
			④－3	先行	山の恵み学習会（地域懇親会テーマ）	－
			④－4	早期	水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）	1．水辺利用者（保育園、小学校、公民館）との意見交換会の実施 2．利用実態に即した除草作業（園児の水辺での遊び場を確保）
2．明るく元気で豊かな ふるさとづくり	Ⅲ．水源地域の活性化	5．神戸川「川の駅」づくり	⑤－1	先行	青空市の活性化	1．うぐいす茶屋販売コーナーの維持 2．カブトムシの養殖について協議
			⑤－2	中期	憩いの場の充実	－
			⑤－3	中期	特産品の開発	ダム堤体内での酒貯蔵を試行。（H26年度は堤体内の環境調査（温度測定・分析）、既存酒の貯蔵を試行。）
		6．地域コミュニティーの強化	⑥－1	先行	地域懇親会の開催	－
			⑥－2	中期	七夕祭り	－
		7．志津見湖のイメージアップ	⑦－1	先行	イメージキャラクターの活用（地域懇親会テーマ）	1．記者発表資料等へ「くにびきくん」を掲載
		8．自然に優しいエコ活動	⑧－1	中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	－

基本方針	テーマ	分類	分類	実施時期	アクションプラン	H26実施内容
	Ⅳ. 地域の有する 歴史文化の継承	9. 伝えようふるさとの 歴史と文化	⑨－1	先行	食文化伝承レシピの作成	1. 家庭の味祭り開催 2. レシピ集の作成
			⑨－2	後期	遺物の展示	－
			⑨－3	先行	民具の展示	1. うぐいす茶屋での常設展示
3. 人が集まるふるさとづくり	Ⅴ. 水源地域の ピーアール	10. 水源地域の修景	⑩－1	中期	サインの設置による水源地域の明示	－
			⑩－2	中期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	－
	Ⅵ. 上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	⑪－1	先行	ポピー祭り・コスモス祭開催	1. 巡視体験等の実施（イベント時、地元住民向け） 2. ダム・発電所見学会の実施 3. 降雨体験装置による豪雨体験 4. ダムカード展示会
			⑪－2	後期	野外コンサート	－
			⑪－3	後期	ナイトバザール	－
			⑪－4	先行	志々ファンクラブ	1. フェイスブックによる情報発信
			⑪－5	早期	シンボルオブジェ作り	－
		12. 湖面イベントの開催	⑫－1	先行	湖面巡視体験	1. 巡視体験等の実施（イベント時、地元住民向け）
			⑫－2	先行	カヌー教室（PTA対象）	－
			⑫－2	中期	カヌー教室（一般対象）	－
			⑫－3	後期	魚釣り大会	－
			⑫－4	中期	ラジコンボートレース大会	－
		13. 志々のみどころ紹介	⑬－1	中期	手作り見どころ案内板	－
			⑬－2	先行	マップ（パンフレット）づくり（地域懇親会テーマ）	－
			⑬－3	先行	フォトコンテストの開催	1. 年間を通した募集
			⑬－4	追加	志々のみどころ紹介	1. ホームページの改良 （ダム周辺の見どころの紹介、周辺イベントの紹介） 2. 他ダムとの連携（周辺ダムの紹介） 3. ダムのビューポイントの整備と紹介
			⑬－5	追加	水源地域のサイン計画	－
		14. 田舎ツーリズムの展開	⑭－1	中期	田舎体験	－
		15. 他地区との連携	⑮－1	中期	広域的な連携検討	1. 尾原ダム地域との連携 2. 斐伊川下流域との交流 3. ダム上下流小学生の交流

H26新規取り組み　3項目

【基本方針１：美しいふるさとづくり】

アクションプラン１：河川と道路の景観保全活動

（既存）　流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

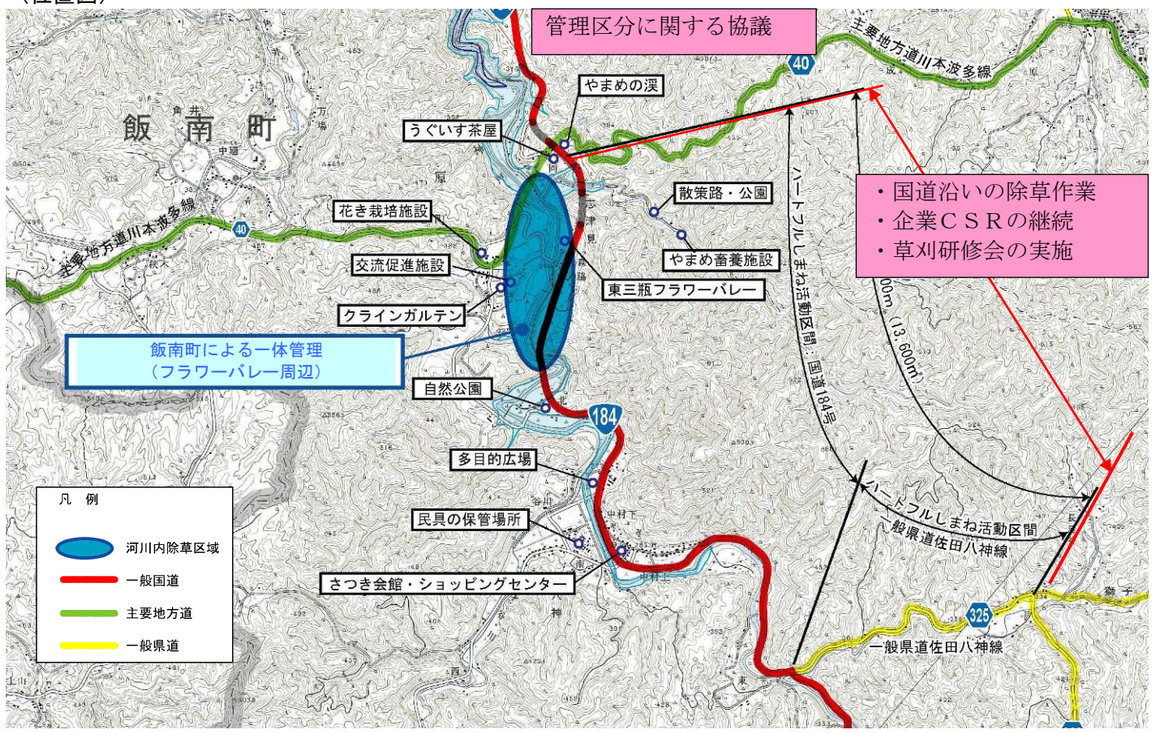
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成
	場　所	・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道 184 号、県道など
	内　容	・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(新規取り組み) ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会（イベント的な要素も盛り込む）をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。(新規取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』(「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等）を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。〔志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やこごみを使った山菜弁当で交流会を実施〕(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・「志々の景観を守り育てる会」による国道 184 号、一般県道佐田八神線沿道除草 （「ハートフルしまね」として活動　年２回の除草、延長 6.8km、面積 13,600 ㎡） ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者（県、国）および道路管理者（県、町）が行う ＜第２回委員会での意見＞ ・国道 184 号と主要地方道川本波多線は重点区域として草刈りを行う
Ｈ２６で取り組むべき事項	①除草等の区域、時期、頻度や役割分担の明確化（維持管理協定の締結） ②「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」での草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動の実施（継続） ③企業ＣＳＲの継続実施（継続） ④草刈研修会　男女が参加できる研修会を実施する。(継続)	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
①フラワーバレー							
維持管理協定の締結			●	●	●		
種の購入			●				
種まき	●	●					
除草	●	●	●	●	●		国が町に委託
②フラワーバレー以外							
河川区域の除草等	●		●	●	●		
道路区域の除草等	●	●	●	●			

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

（位置図）



■今年度実施内容

1．国・県間で維持管理協定を締結（継続）
　管理区分の明確化。 → 協議中

2．生活拠点施設からうぐいす茶屋までの除草（継続）
　・実施主体　　志々の景観を守り育てる会
　・実施日　　平成26年5月31日（土）、平成26年8月2日（土）
　・実施場所　　生活拠点施設からうぐいす茶屋までの国道沿い
　・助　成　　島根県ハートフルロード事業交付金

　・実施主体　　島根県雲南県土整備事務所
　・実施日　　平成26年10月
　・実施場所　　国道184号

3．企業CSRによる草刈、ゴミ拾い （継続）
　・実施主体　飯南町
　・実施日　　平成26年11月2日（日）
　・実施場所　うぐいす茶屋周辺及び東三瓶フラワーバレー周辺
　・参加人数　23社。73名
　・助　成　　島根県水源地域環境活動推進事業

【これまでの参加実績】
　H24： 7 社、27 名 → H25： 5 社、19 名 → H26：23 社、73 名

4．草刈研修会（継続） → 未実施
　男女が参加できる研修会を実施する。

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ２：町有林による景観美化

（既存）　飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。

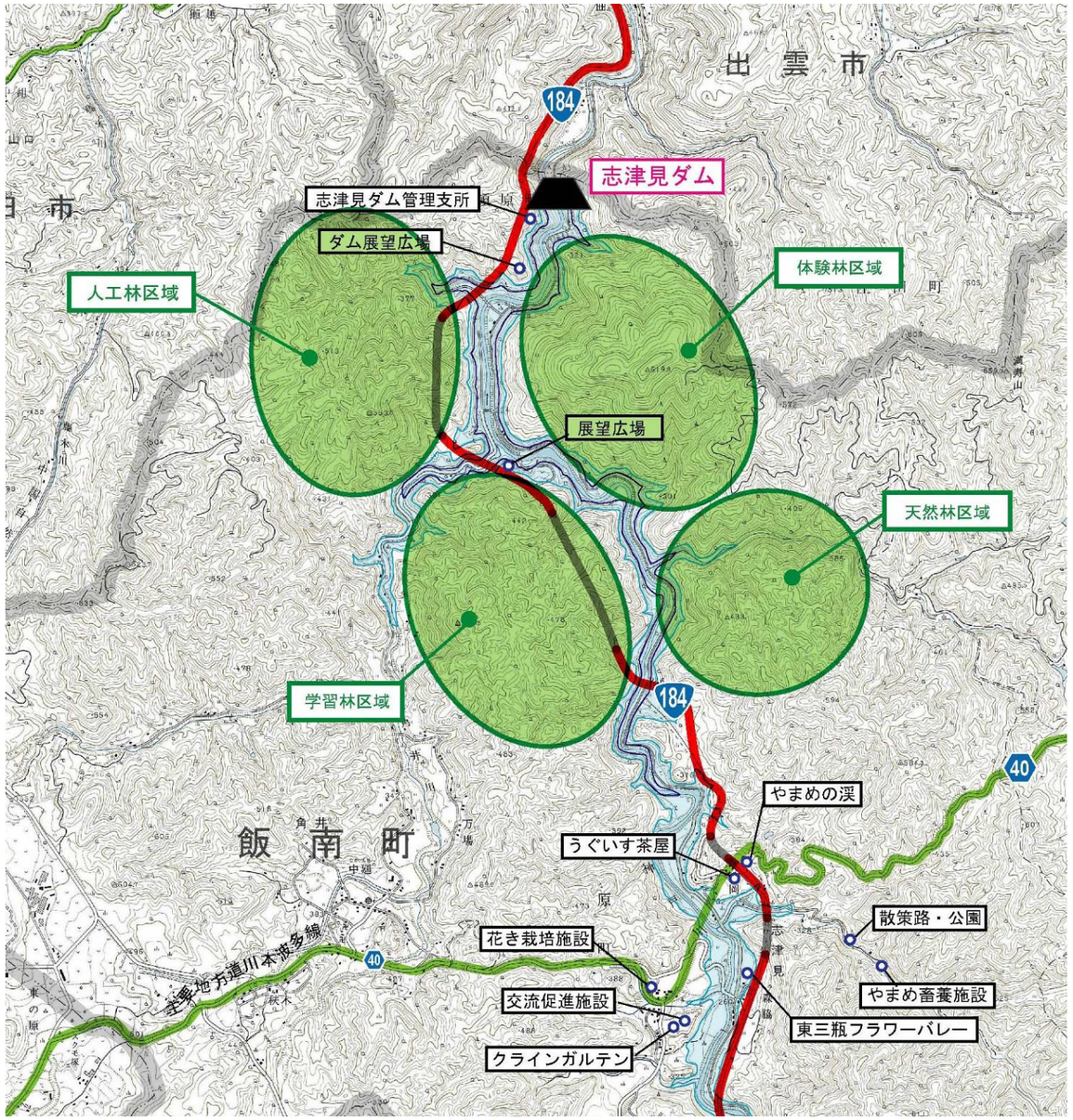
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観の保全・向上 ・水源地の体験学習林としての活用
	場　所	・国道 184 号沿いの町有林
	内　容	・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。（既存取り組み） ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・飯南町による町有林整備（植林整備） ・山林保全の位置づけ （人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域）
Ｈ２６で取り組むべき事項	①林道整備との調整を行う（継続） ②「元気にする会」等で整備・活用の方向性を議論する（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
企画立案	●		●	●	●		
林道整備			●				
整備に関する意見集約	●		●				
活用に関する意見集約	●		●	●	●		
取り組み後のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

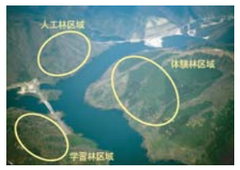
■参考図（「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成）



■今年度実施内容

1. 林道整備との調整（継続）
　→　未実施

2. 整備・活用の方向性を論議（継続）
　→　未実施



整備計画

体験林ゾーン頂上から

さえずりの森からの進入路

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ３：彩りの森の紅葉をライトアップ

（既存）　既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。

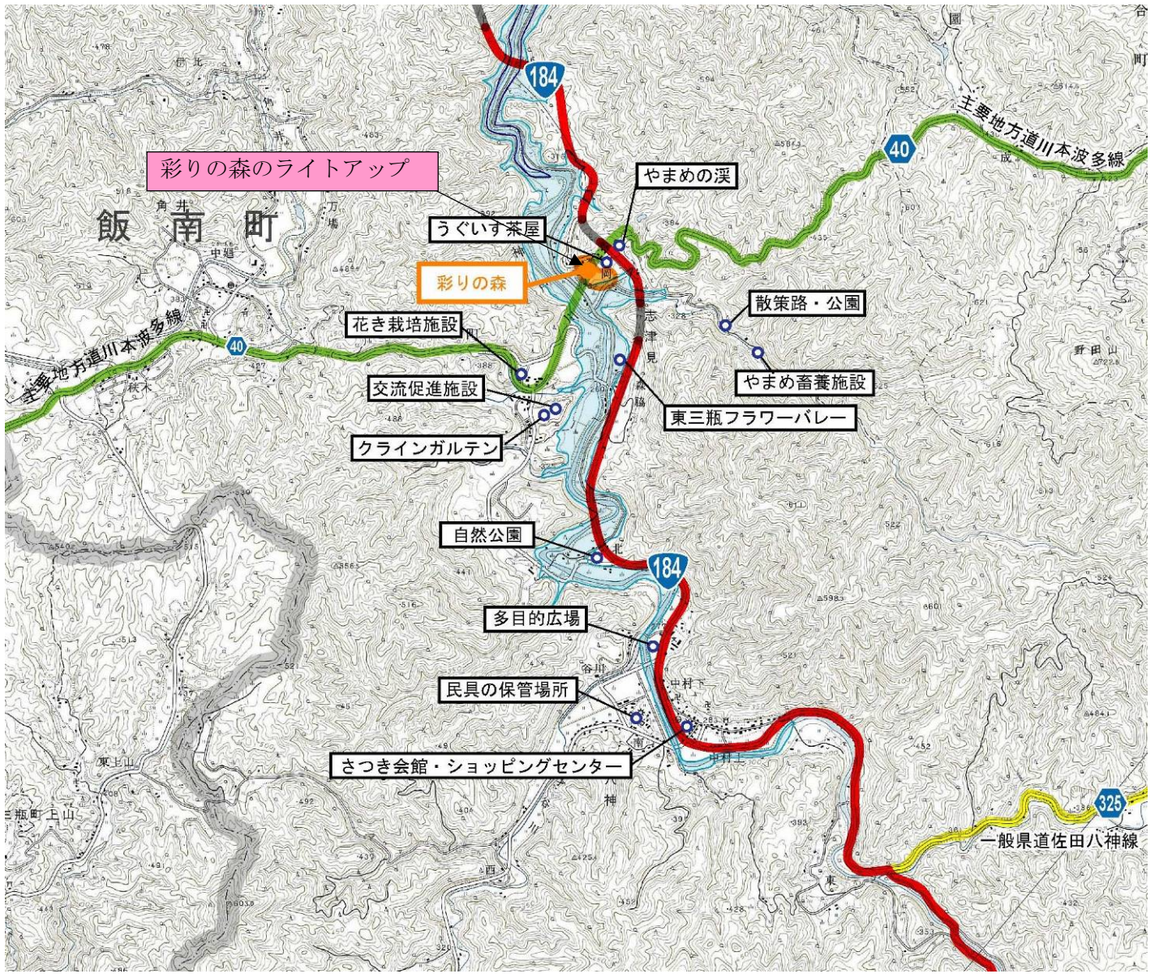
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出
	場　所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のモミジ植栽地区）
	内　容	・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森へのモミジの植栽 ・紅葉祭りの開催（11 月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10 月第 2 週、日曜日開催）
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　紅葉祭りの開催にあわせたライトアップの実施（継続） ②　志津見ダムとの連携（継続） ③　夜カフェ等の実施を検討する ④　彩りの森植樹者に対しＰＲを行う	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
資機材の準備			●				
投光機の設置			●				
ライトアップの広報、ＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

「彩りの森」位置図



■今年度実施内容

1．彩りの森ライトアップ（継続）
　紅葉まつりの開催にあわせ彩りの森のライトアップを実施（継続）
　・実施日　　平成26年11月1日（土）～平成26年11月9日（日）
　・点灯時間　　17：30～21：00
　・実施場所　　彩りの森（うぐいす茶屋周辺）
　・実施主体　　志都の里・飯南町
　・助　成　　飯南町

彩りの森ライトアップ

2．志津見ダムとの連携（継続）

3．夜カフェ等の実施を検討する（新規）
　石やき芋など、紅葉祭の夜、または、志津見ダム管理支所の駐車場で試験販売の検討

4．彩りの森植樹体験者に対しPRを行う（新規）
　→　未実施

志津見ダムライトアップ

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ4：志津見ダムのライトアップ

既存の投光機を使用し、志津見ダムをライトアップする。

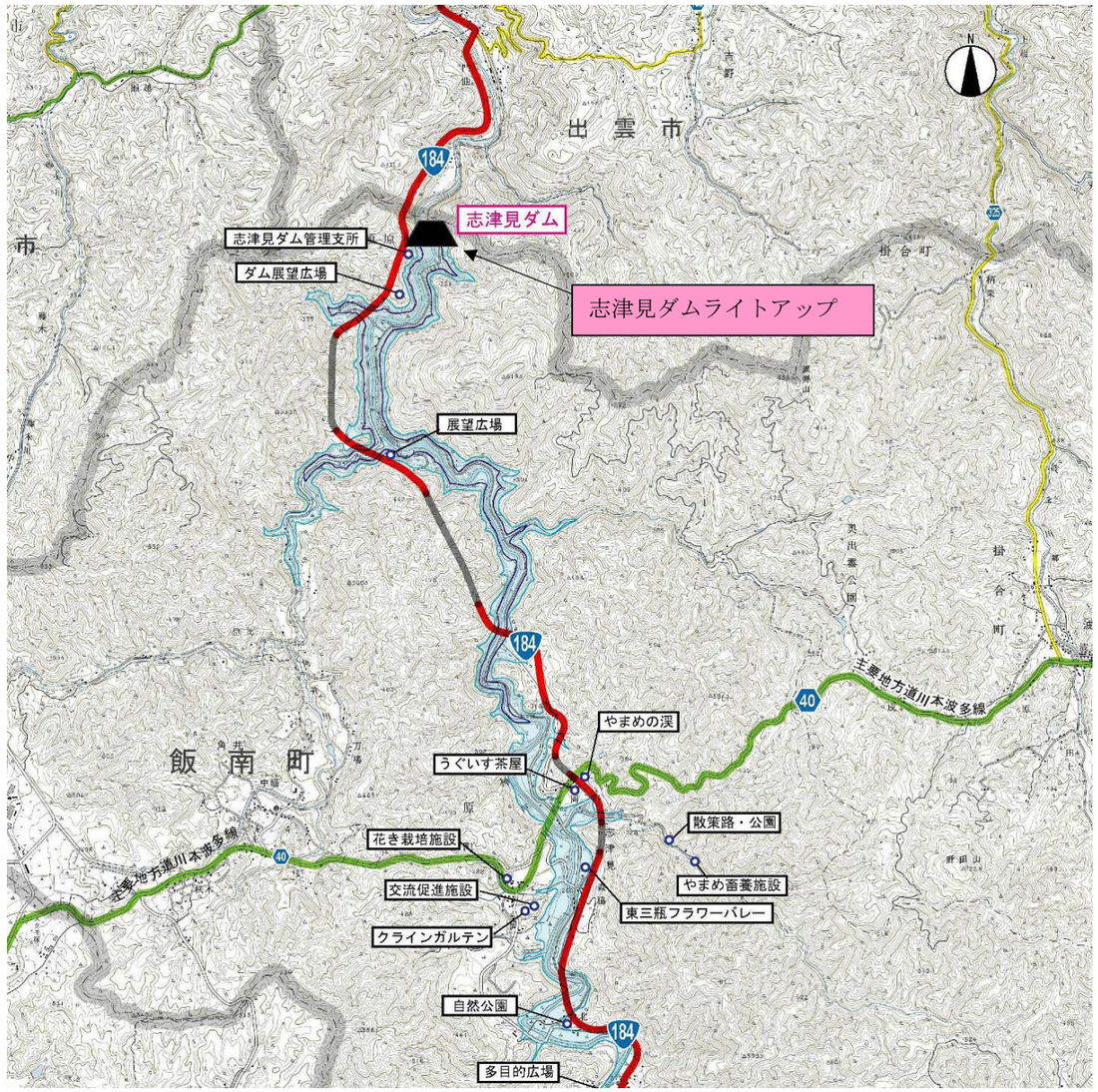
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出
	場　所	・志津見ダム
	内　容	・志津見ダムをライトアップしダム周辺の魅力アップを図る（継続） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ 　・彩りの森のライトアップ
Ｈ２６で取り組むべき事項		①　紅葉祭りの開催にあわせたライトアップの実施（継続） ②　他の季節でも実施することを検討する（継続）
実施主体		志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ライトアップの企画	●		●	●	●		
ライトアップの実施					●		
ライトアップの広報、ＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 彩りの森ライトアップとの連携（継続）
　彩りの森ライトアップにあわせ志津見ダムのライトアップ（点灯試験）を実施（継続）
　・実施日　　平成26年11月1日（土）
　　～平成26年11月9日（日）
　　までの土日祝祭日
　・点灯時間　17：30～20：00
　・場　所　　志津見ダム　堤体

ライトアップ状況

2. 紅葉時期だけでなく他の季節でも実施することを検討する。（継続）

3. ライトアップを知らせる看板等を設置することで、通行者に対するPRを行う（新規）　→　未実施

アクションプラン５：水生生物による簡易水質調査の実施

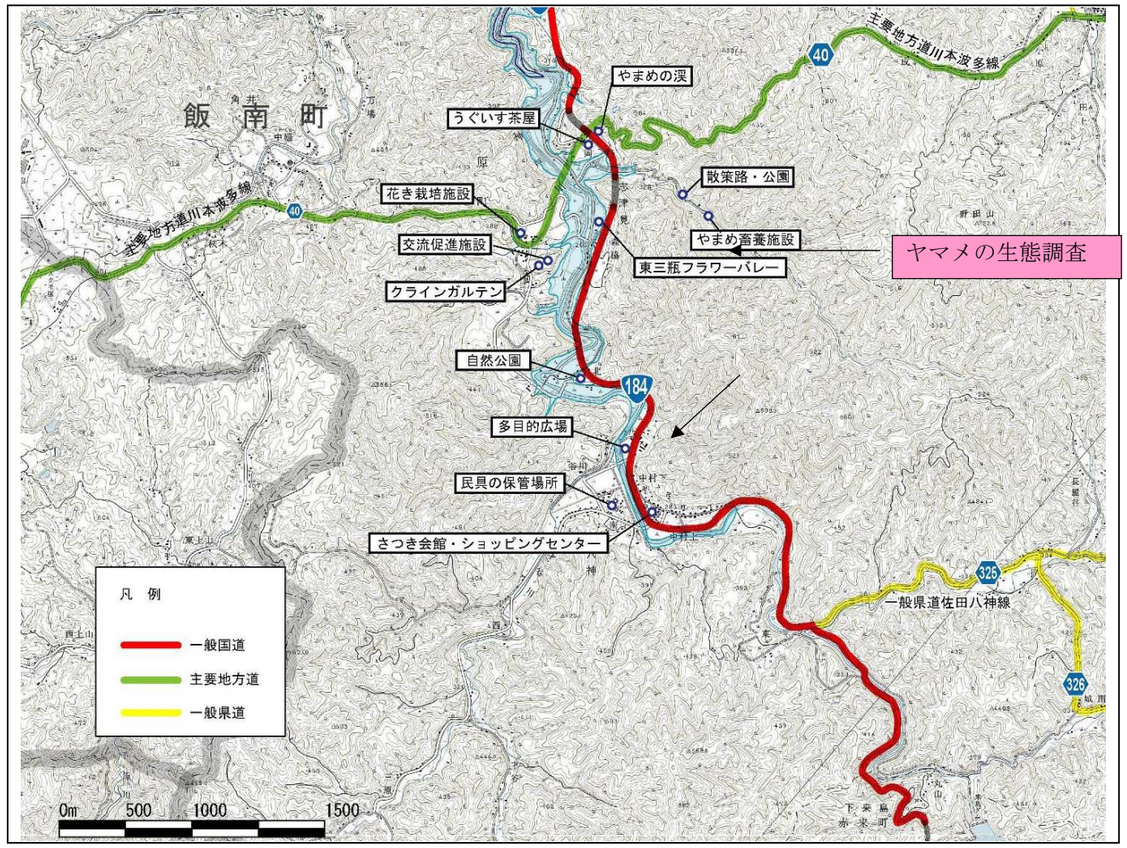
（既存）　神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査を行い、調査結果を発表する場を設けることで上下流の交流をはかる。

取り組み内容（全体）	目　的	・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成
	場　所	・神戸川流域
	内　容	・上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（新規取り組み） ・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（ＮＰＯ法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011　秋　　上下流の６小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校　飯南町八神　：志々小学校　3、4 年生 出雲市所原町：朝山小学校　3、4 年生 馬木大橋付近：神戸川小学校 4 年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校 4 年生合同調査（下流） 塩治町　　：塩治小学校 4 年生（下流） 第 5 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会(2011．11．23) 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　ヤマメの生態調査にあわせ交流できる行事を企画する（継続） ②　下流域住民の参加を増加させる	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
出前講座の検討	●		●	●	●		
参加小学校の検討	●		●	●	●		
教育庁との連携	●		●	●	●		
交流行事の企画	●		●	●	●		
調査の広報、ＰＲ	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



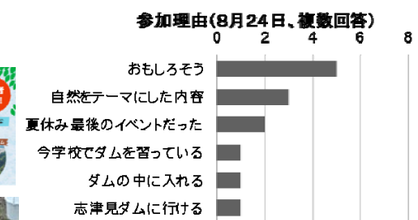
■今年度実施内容

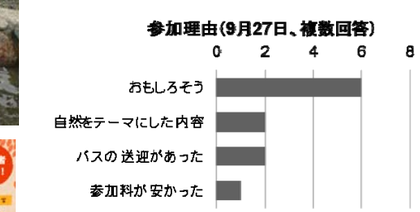
1．ヤマメの生態調査にあわせ交流できる行事を企画する。（継続）
2．下流住民の参加を増加させる。（継続）

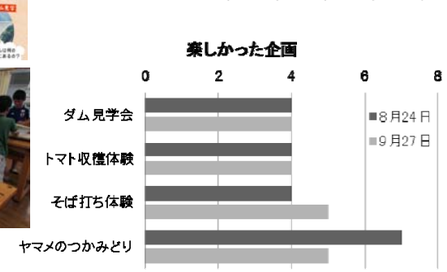
【ヤマメの学習＆体験事業】
～　ヤマメ学習、つかみ取り、トマト収穫、そば打ち体験、ダム見学　等

・実施日　平成26年8月24日（日）
・場　所　さつき会館前河原
・実施主体　飯南町、国交省、志々公民館
・参加者　出雲市内の親子（小学生）　19名
・助　成　島根県水源地域環境活動推進事業

・実施日　平成26年9月27日（土）
・場　所　さつき会館前河原
・実施主体　飯南町、国交省、志々公民館
・参加者　出雲市内の親子（小学生）　18名
・助　成　島根県水源地域環境活動推進事業







ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ6：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）

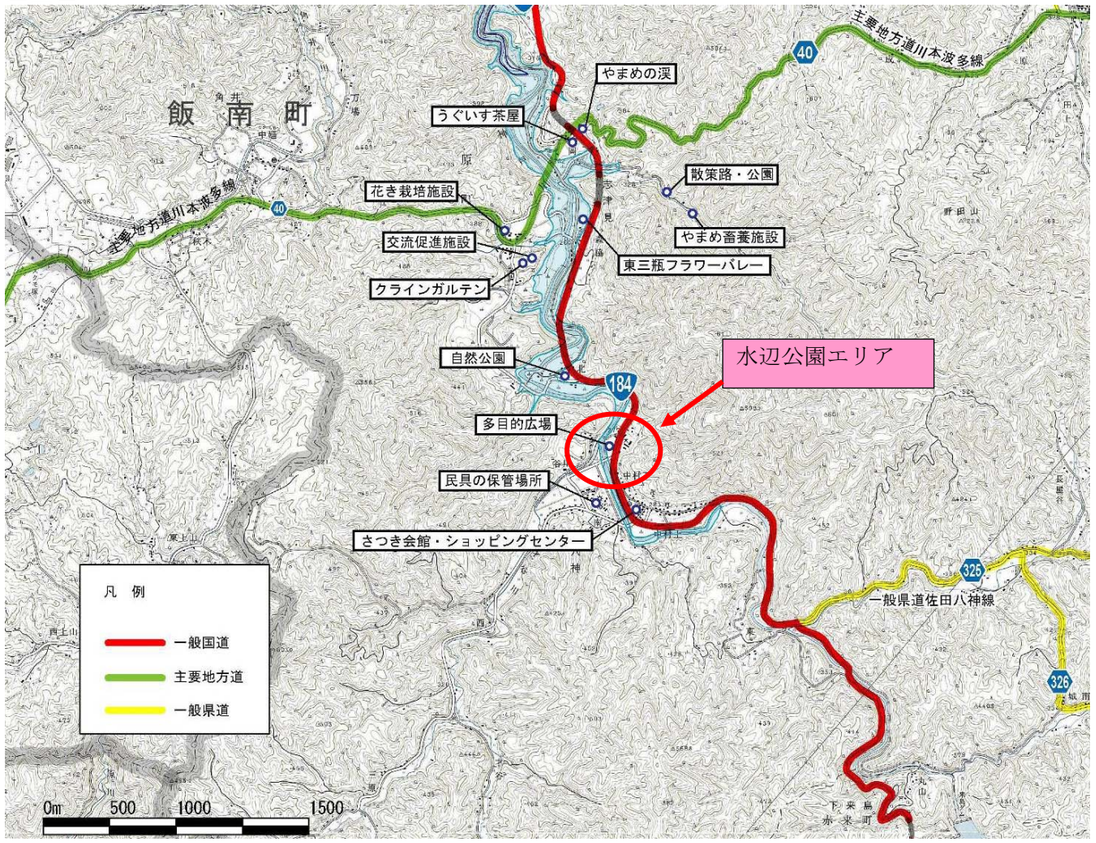
取り組み内容（全体）	目　的	・地域の自然環境を利用した環境学習 ・自然体験の場の提供 ・エコロジカルネットワークの形成
	場　所	・水辺公園エリア（志々小学校前）
	内　容	・水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　利用可能箇所の明示を行う（継続） ②　河床整備、除草等適正な管理を行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
出前講座の検討	●		●	●	●		
参加小学校の検討	●		●	●	●		
教育庁との連携	●		●	●	●		
交流行事の企画	●		●	●	●		
調査の広報、ＰＲ	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 ３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．利用可能箇所の明示（継続）
2．河床整備、除草等適正な管理を行う（継続）

【利用者による意見交換会および現地確認の実施】
・実施日　平成26年7月1日（水）
・場　所　さつき会館
・参加者　さつき保育園、志々小学校、志々公民館、飯南町、国

【葦の試験的な除草】
・実施日　平成26年7月15日（火）
・場　所　さつき会館前河原

使用の様子

使用の様子

【基本方針2：明るく元気で豊かなふるさとづくり】

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ7：青空市の活性化

（既存）　地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

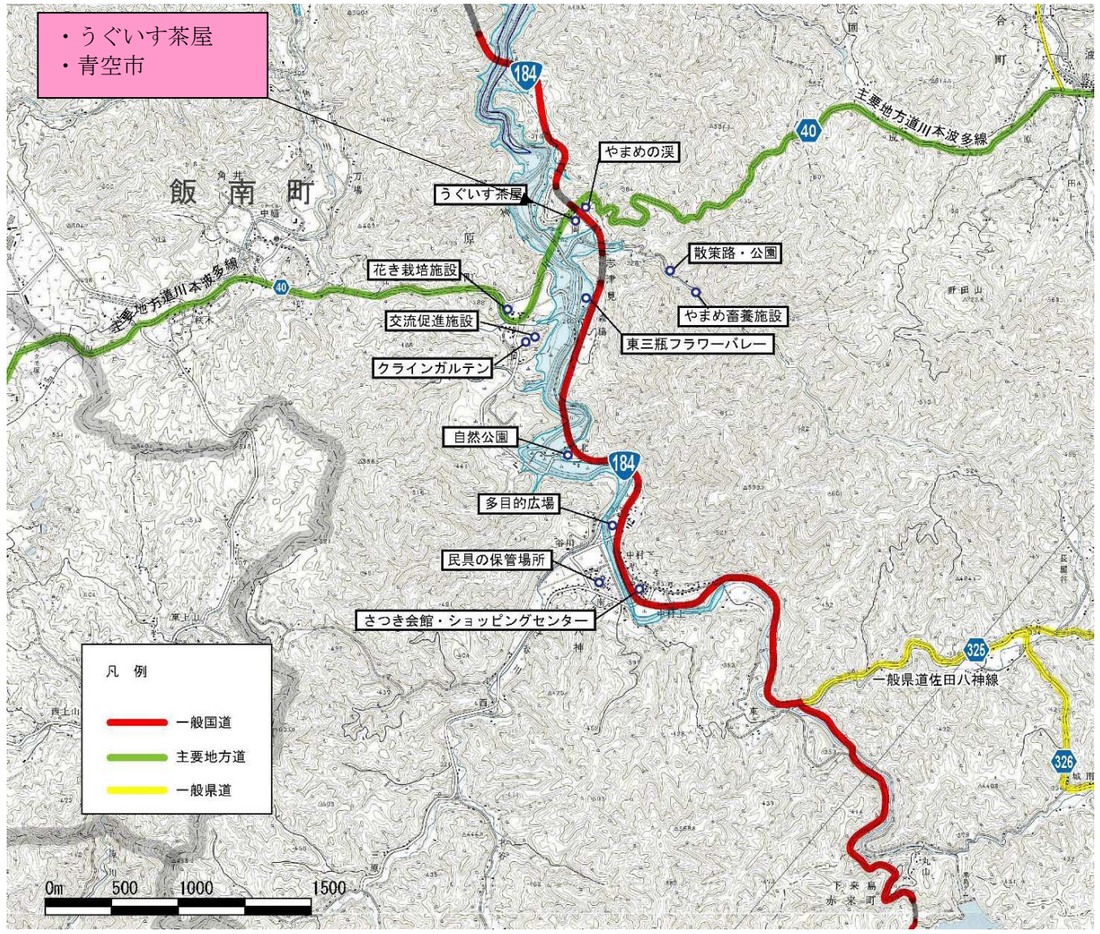
取り組み内容（全体）	目　的	・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘
	場　所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）
	内　容	・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。（新規取り組み） ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催
Ｈ２６で取り組むべき事項	①販売コーナーの商品を充実させる（継続） ②加工品の種類の充実を図る（新規）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
生産から販売までの仕組みづくり	●		●	●	●		**事例研修や勉強会、会場の魅力向上も含む**
生産者の現状把握	●		●				
出品する農産物の選択	●		●				
農産物集荷方法の検討	●		●				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
集客方法の検討	●		●				
資金の調達手法の検討	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容
1. 販売コーナーの商品を充実させる（継続）
2. 加工品の種類の充実を図る（新規）

青空市の状況

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ８：地域懇親会の開催

（既存）　地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

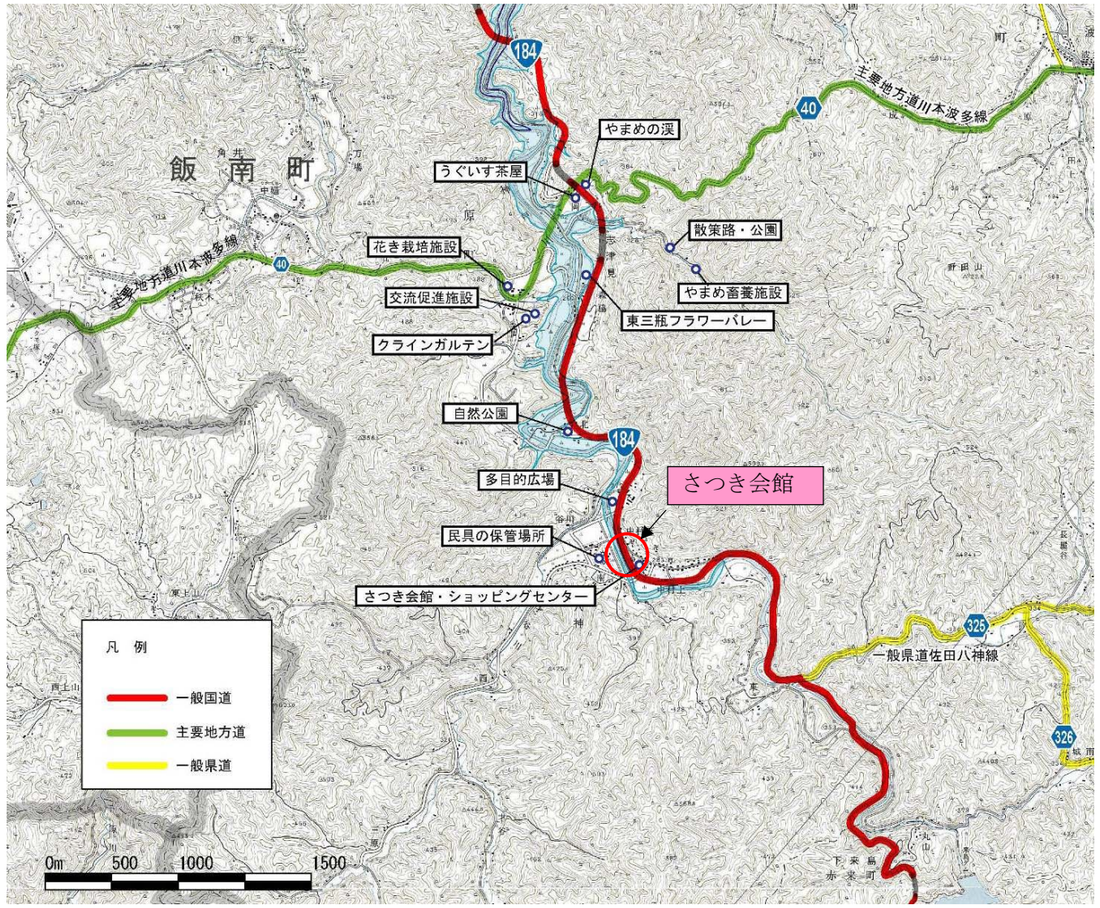
取り組み内容（全体）	目　的	・志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 ・地域コミュニティの強化 ・世代間交流 ・情報の共有と連帯感の醸成
	場　所	・さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、**ダム展望広場**
	内　容	**・若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。（新規取り組み）** ・以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(新規取り組み) **＜意見交換テーマ＞** **①「山の恵みの学習」について** 山の知識が豊富な方の協力を得て、**春に流域住民の参加も募り**山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 **また、自然観察会や家庭の味まつりなどとのタイアップも検討する。** **②「イメージキャラクターの活用」** 既存のイメージキャラクターの活用（**着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイディア募集など**により親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 **③「マップ（パンフレット）づくり」について** 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・志津見ダムのキャラクター　くにびきくん ・ポピー祭のキャラクター ・コスモス祭のキャラクター **・飯南町のキャラクター　いいにゃん** ・志都の里　湖畔散策マップ
Ｈ２６で取り組むべき事項	①引き続き開催（継続） ②地区全員が出られる機会をつくる（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
意見交換テーマの設定	●		●	●	●		
意見交換と意見集約	●		●	●	●		
会場提供			●				

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．引き続き開催　→「地域懇親会の昭和少年少女の集い」を２月下旬開催予定

2．地区全員が出られる機会をつくる　→　未実施
　幅広い意見の集約を進める
　その他地域懇親会テーマ
　　①イメージキャラクターの活用
　　②マップづくり

【昭和少年少女のつどい】※昨年の様子
場所：さつき会館

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ９：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

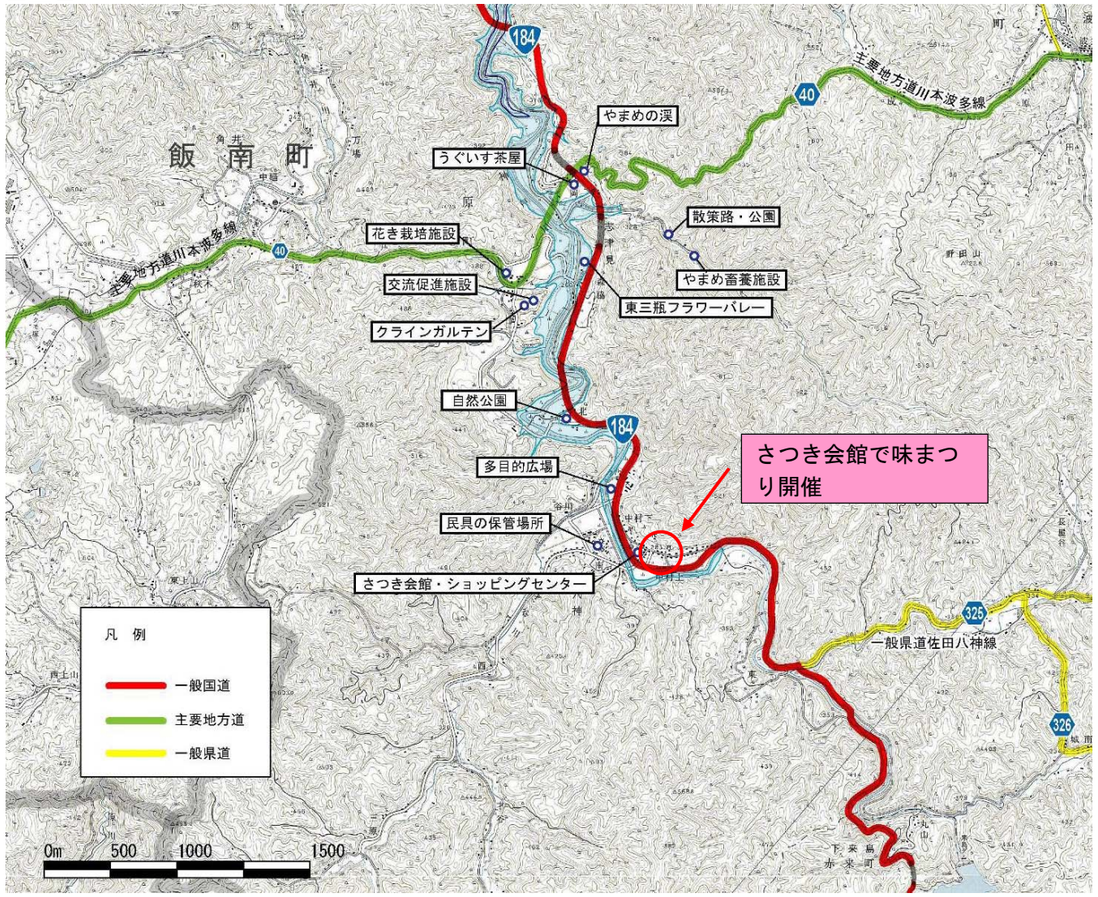
取り組み内容（全体）	目　的	・地域文化の伝承 ・地域の食文化の PR ・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘
	場　所	・志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋
	内　容	・地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。（新規取り組み） ・うぐいす茶屋でのメニュー化検討。（新規取り組み） ・レシピに基づく料理教室の開催。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業）　申請中（地域社会振興財団） ・志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行
Ｈ２６で取り組むべき事項	①家庭の味祭りの継続開催（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
助成申請	●		●	●	●		
家庭の味まつりの開催	●		●				
レシピ・写真の整理	●		●				
レシピのＰＲ	●		●	●	●		
写真集の発行	●		●				
写真集のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1.「家庭の味祭り」の継続開催

【家庭の味祭り】 11 月 29 日（土）開催

・参加者数　71 名　（昨年 78 名）

2. レシピ集の作成

アクションプラン１０：民具の展示

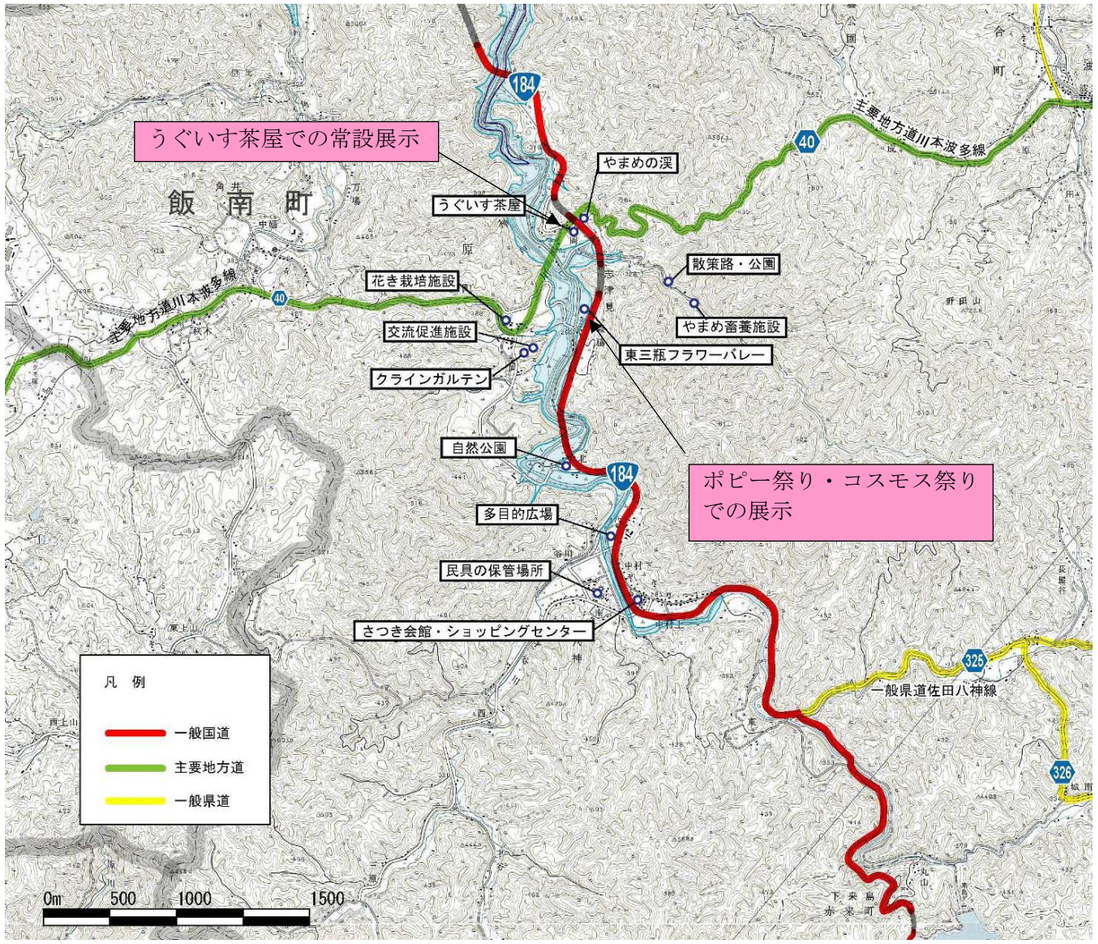
地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。

取り組み内容（全体）	目　的	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化の PR
	場　所	・うぐいす茶屋、フラワーバレーエリア、**志津見ダム管理支所、さつき会館（志々公民館）など**
	内　容	・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） ・さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ・ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　うぐいす茶屋等での常設展示（継続） ②　ポピー祭、コスモス祭等イベント時の展示（民具の実演等展示に工夫）（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
	①うぐいす茶屋等常設展示							
	常設展示の企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
	民具の搬入・設置	●		●				
	②イベント開催時の展示	●		●				
	イベント展示の企画	●		●	●	●		
	民具の搬入・設置・撤去	●		●				
	民具の管理	●		●				
	③民具の展示のＰＲ	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．うぐいす茶屋での常設展示

2．ポピー祭、コスモス祭での民具展示（実演等展示方法に工夫）　→　未実施

【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

アクションプラン１１：ポピー祭・コスモス祭開催

（既存）　これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

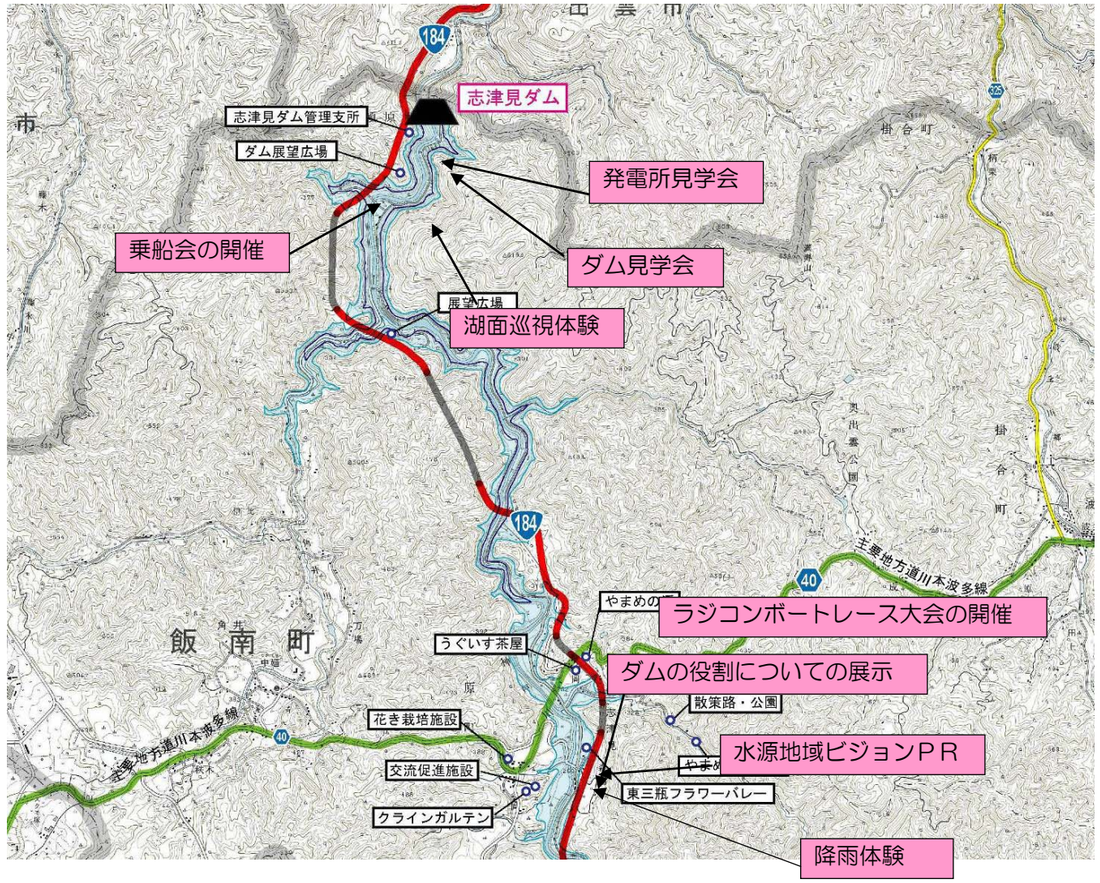
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化
	場　所	・フラワーバレーエリア
	内　容	・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（新規取り組み）や、ダム見学、発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会
Ｈ２６で取り組むべき事項	①ダム湖巡視船による湖面巡視体験（継続） ②ダム見学会「ダムの目的、構造などの説明とダム施設見学」（継続） ③発電所見学会（継続） ④志津見ダム水源地域ビジョンの PR（継続） ⑤降雨体験機による豪雨体験（継続） ⑦ダムカードを活用したコーナー（継続） ⑧地域住民対象の乗船会の開催（継続） ⑨ラジコンボートレース大会の開催（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
湖面巡視体験の実施			●	●	●		
ダム見学会の実施			●	●	●		
発電所見学会の実施			●	●	●		
集中豪雨に関する展示 降雨体験機による体験					●		パネル等の展示
イベントの広報・ＰＲ	●		●	●	●		
ビジョンのＰＲ	●		●	●	●		パネル展示

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容（ポピー祭り、コスモス祭において実施）

【入り込み実績】
ポピー祭り／コスモス祭り
H23 ： 3,000 人／5,000 人
H24 ： 4,000 人／5,000 人
H25 ： 6,000 人／5,500 人
H26 ： 4,500 人／5,500 人

ダム巡視体験（ｲﾍﾞﾝﾄ時）

ダム・発電所見学会

ダムカード展示会

降雨体験機による豪雨体験

ダム巡視体験（地元向け：11 月 24 日～26 日）

アクションプラン１２：志々ファンクラブ（仮称）

（新規）　クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。

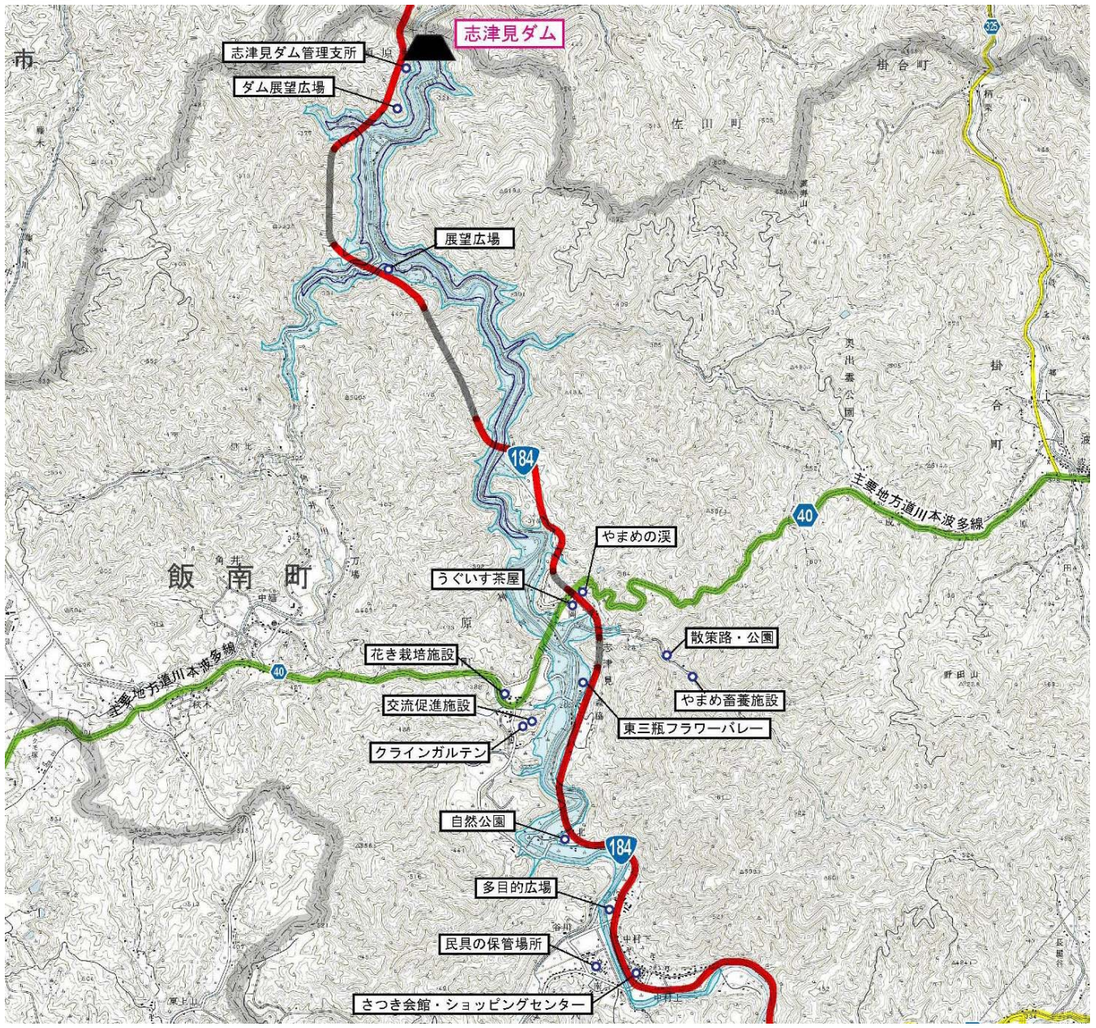
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化
	場　所	・水源地域
	内　容	・クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（新規取り組み） ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。（新規取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（新規取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　効果的な情報発信について検討する（継続） ②　会員の具体化（どの層を狙うか）を検討する。（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
志々ファンクラブの企画	●		●	●	●		
志々ファンクラブの結成	●		●				
ネットワークの構築	●		●				
名簿の収集	●						
志々ファンクラブの PR	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

１．フェイスブック等の活用を含め、効果的な情報発信方法について検討する

フェイスブックの運用（志々の情報発信）

・週１回程度更新

アクションプラン１３：カヌー教室

（新規）　これまでに PTA 等を対象に実施したカヌー教室を新たに開催する。

取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用
	場　所	・フラワーバレーエリア
	内　容	・PTA 等を対象に実施したカヌー教室を、フラワーバレーエリアで新たに開催する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・H17～18 年の 2 年ほど、志々小学校ＰＴＡを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討
Ｈ２６で取り組むべき事項	①ダム湖を活用した体験会の開催を行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

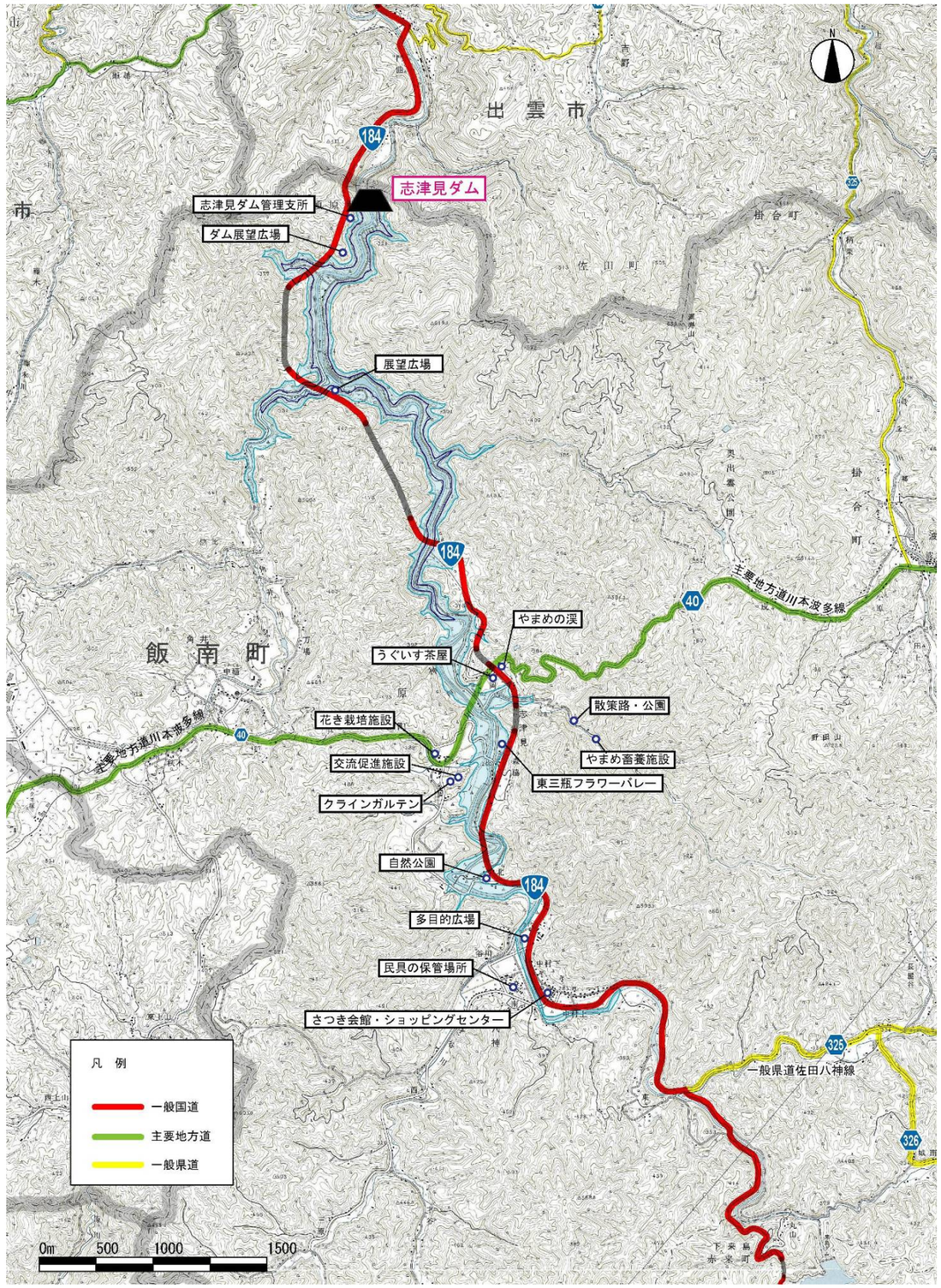
実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
カヌー教室の企画	●		●	●	●		
カヌー教室の講師選定	●		●	●	●		
資機材調達	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

【候補地調査(3 月 12 日)】

【志津見湖試走(3 月 29 日)】

位置図



ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ１４：フォトコンテストの開催

（既存）　ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

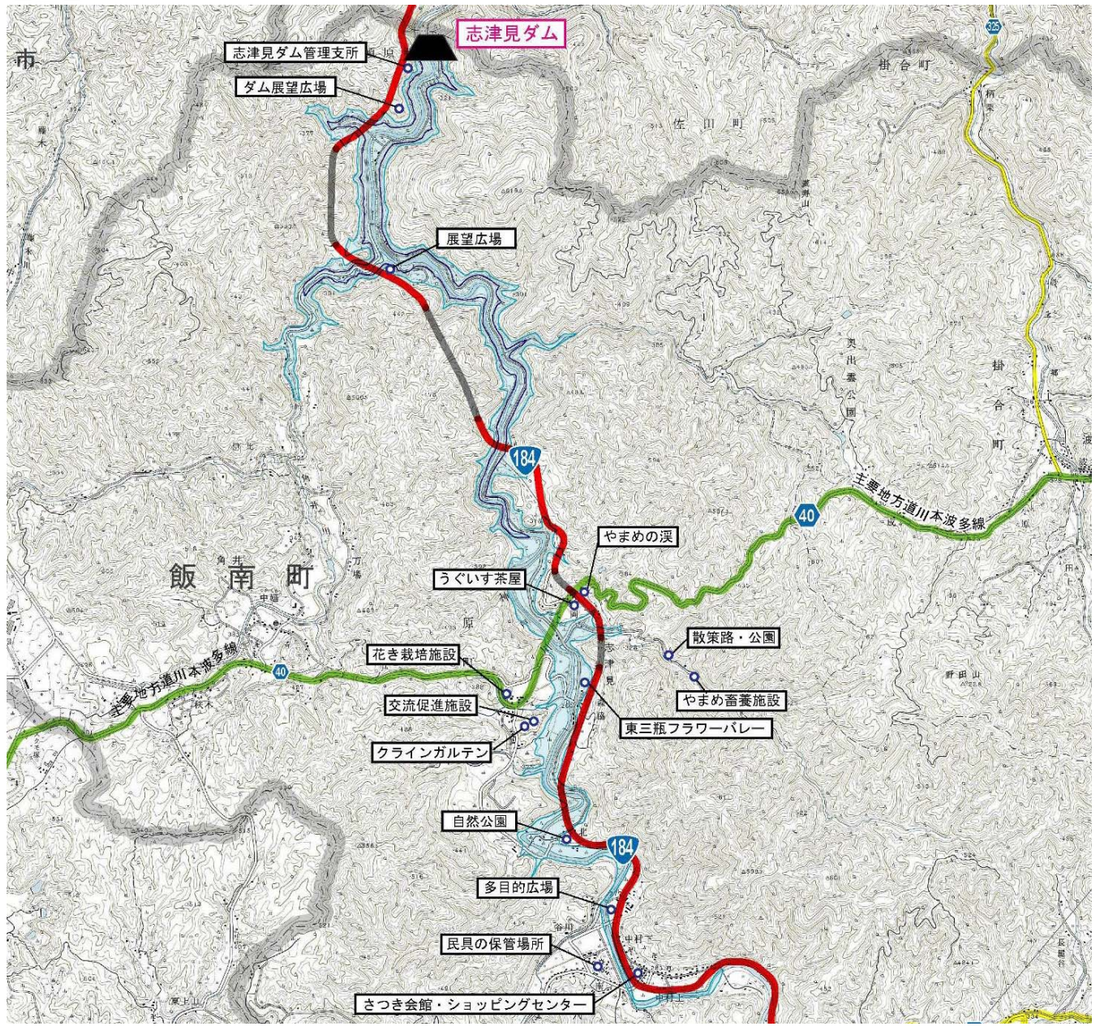
取り組み内容（全体）	目　的	・情報発信 ・地域資源の再確認
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・景観フォトコンテスト ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・いーなんの雪携帯フォトコンテスト
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　年間を通した募集を引き続き行う（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
コンテストの企画	●		●	●	●		
コンテストの実施			●				
コンテストの広報・PR	●		●	●	●		
作品審査	●		●	●	●		
賞品準備	●		●	●	●		賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．年間を通した募集を引き続き行う（募集期間：2014 年 6 月～2015 年 1 月）

【これまでの受賞作新】

＜い～にゃん賞＞

＜志津見湖賞＞

＜東三瓶ﾌﾗﾜｰｲﾍﾞﾝﾄ賞＞

アクションプラン１５：志々のみどころ紹介
（新　規）

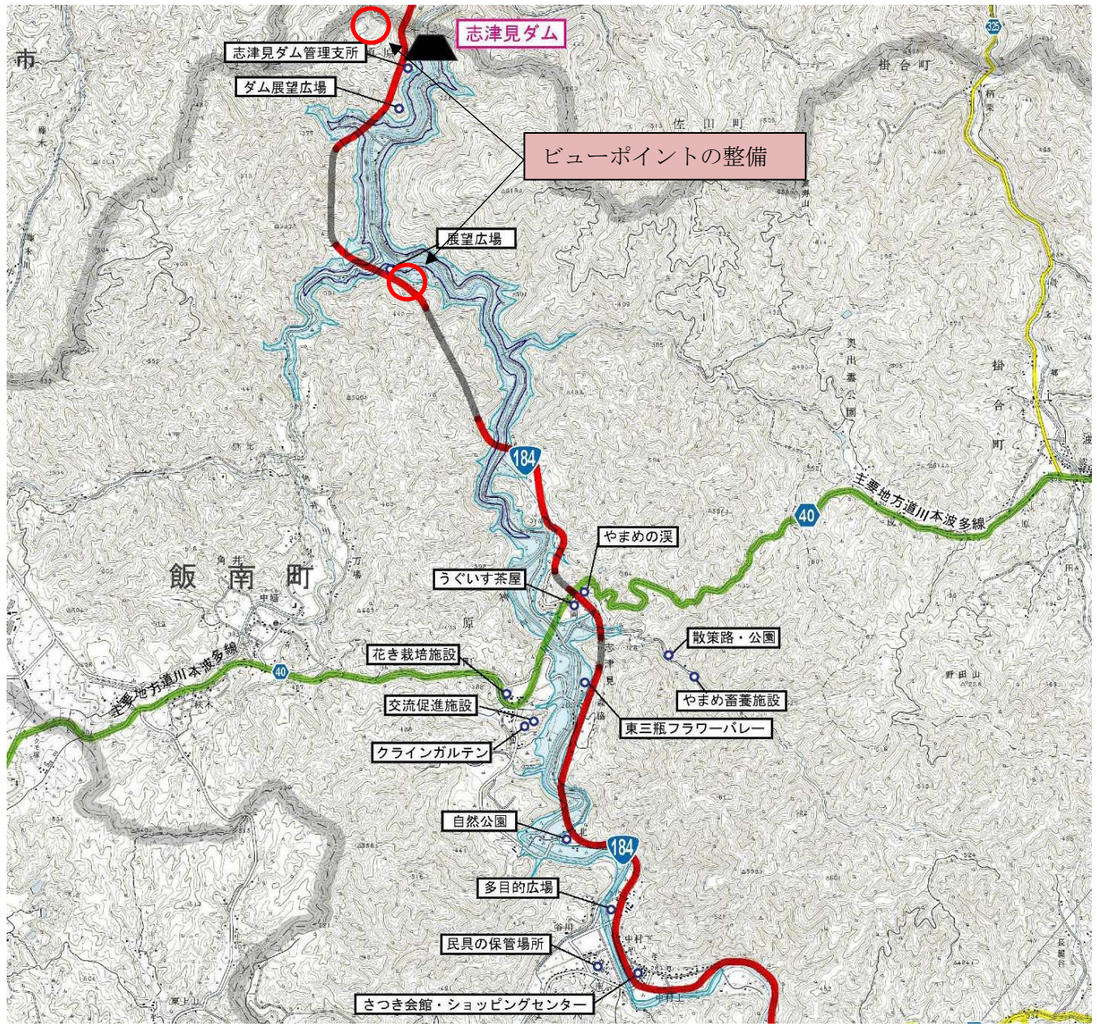
取り組み内容（全体）	目　的	・情報発信 ・地域資源の再確認
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・　行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・　周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・　ダムのビューポイントの整備とＰＲ
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　志津見ダム紹介ＨＰの改良 ②　周辺（県内・広島県北部）ダムとの連携 ③　志津見ダムビューポイントの整備と紹介	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ダムＨＰのアイディア	●		●	●	●		
ダムＨＰの改良					●		
周辺ダムとの連携方策の検討	●		●	●	●		
ダムのビューポイントの整備				●	●		
広報			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

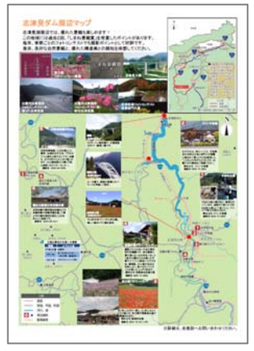


■今年度実施内容

1.　志津見ダムを紹介するホームページを見やすくわかりやすく改良
2. 周辺のダムとの連携（イベント等の相互協力等）
3. 志津見ダムビューポイントの整備と紹介

イベント情報は適宜更新し、ダムの魅力や楽しみ方、周辺マップと共にダムパンフレットに挟み込んで配布。

同紙は、他ダムとの相互配布も実施。



ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ１６：水源地域のサイン計画
（新　規）

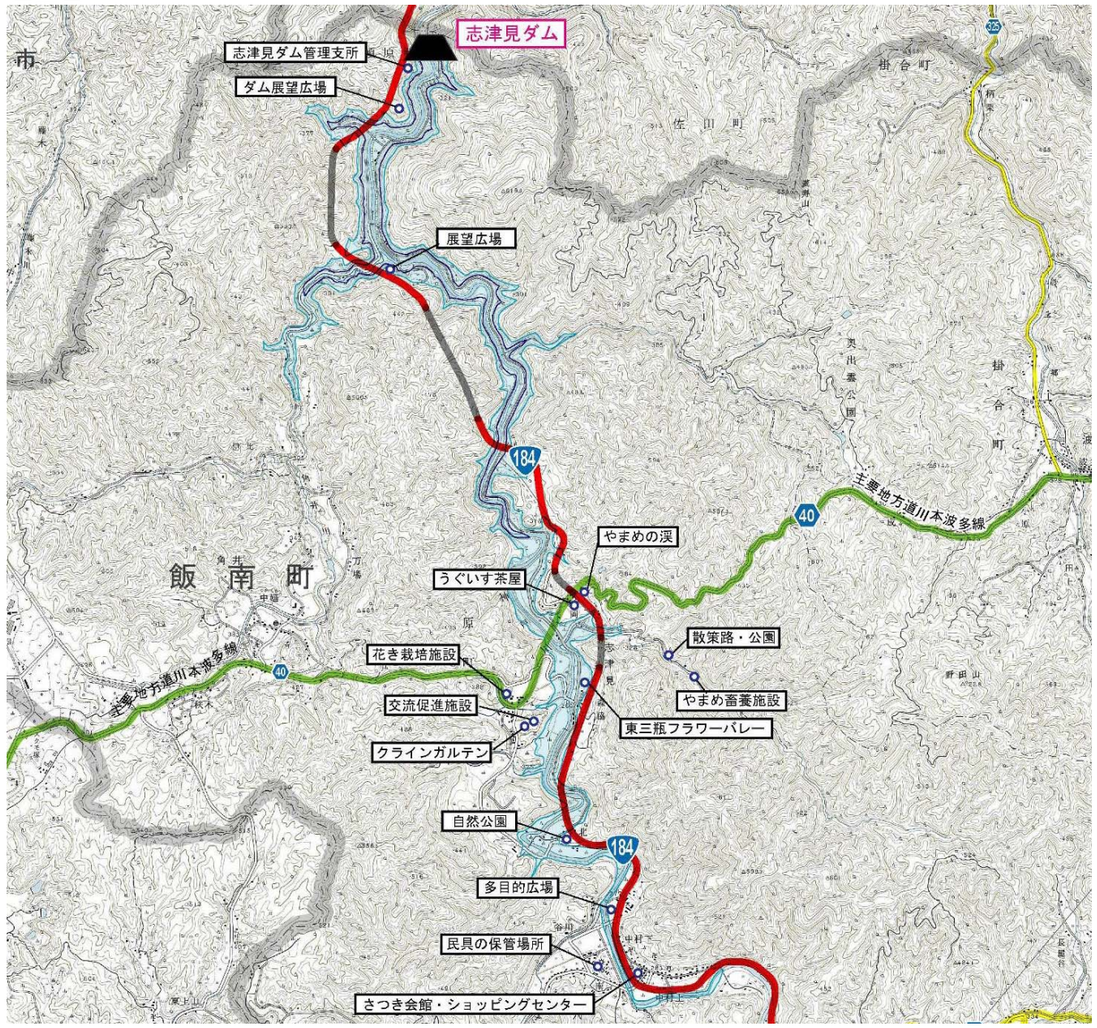
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の位置を発信
	場　所	・水源地域（志々地区）
	内　容	・　周辺施設（道路）から志津見ダムへの案内看板の計画と設置
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　案内看板の計画策定	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
案内看板の計画策定	●		●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

・　尾道松江線を含めた周辺施設からの、志津見ダムへの案内看板計画の検討
「元気にする会」等での意見交換、アンケート調査、現地視察等を実施し検討していく。
具体的な進め方は下記のとおり

1. 志津見ダムへの誘客を促進するために設置する案内看板を検討するにあたり、対象とする範囲とそのルートの設定を行う。
　①　志津見ダムへのルートの設定
　②　既存の案内標識の整理

2. 案内標識の新規設置案の作成を行う
　①　設定したルート上で曲がり角など利用者が迷いやすいポイントを検討し、案内標識を追加・更新すべき箇所を設定する。

アクションプラン１７：広域的な連携検討　　（実施時期　中期）

（既存）　他地区との連携を検討する。

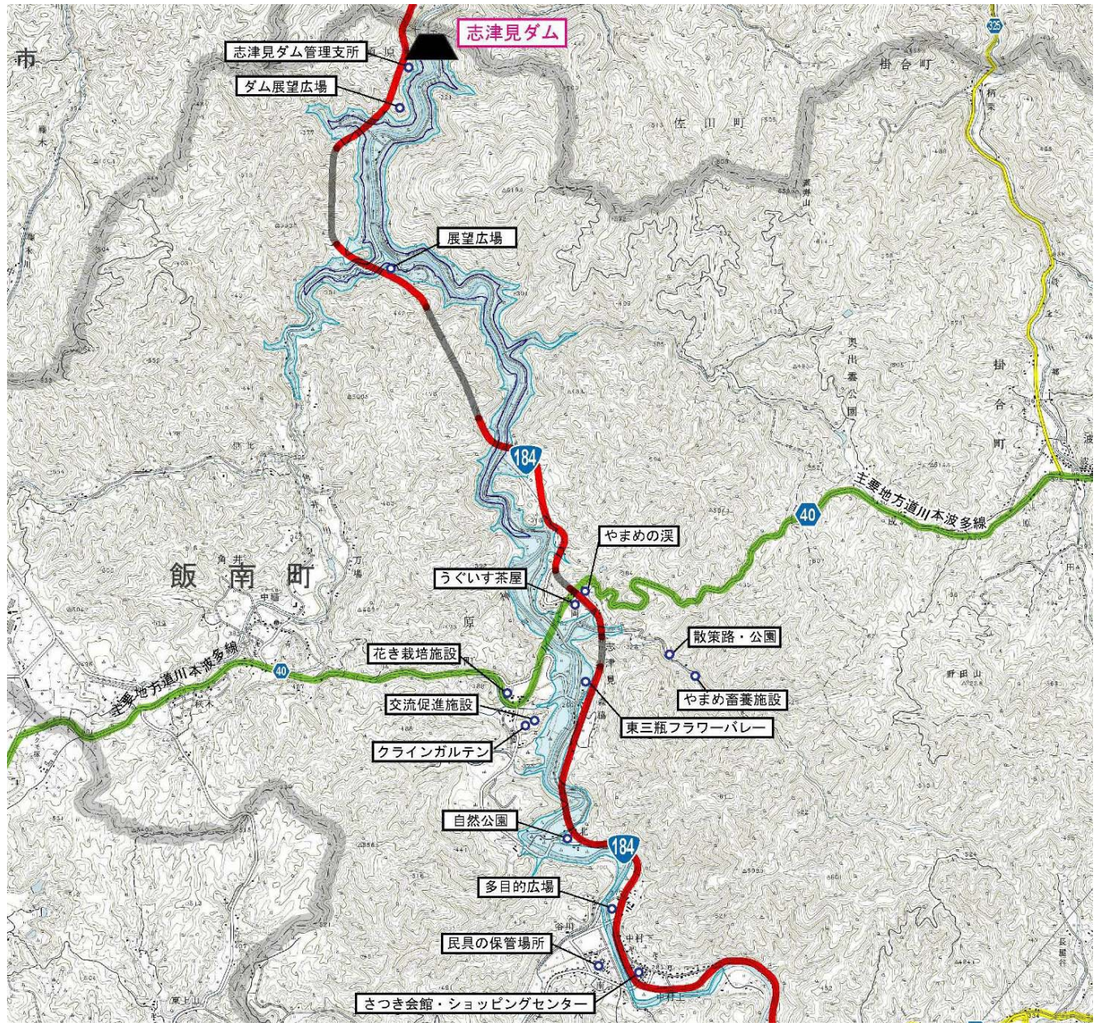
取り組み内容（全体）	目　的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進
	場　所	・島根県中東部
	内　容	・三瓶山（三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル）や石見銀山、出雲市（佐田地区）、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くＰＲする。 【他のアクションプランとの連携】 ・　河川と道路の清掃活動 ・　水生生物調査 ・　ポピー・コスモス祭り 等との連携
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　周辺地域（三瓶山周辺）への志津見ダムのＰＲを行う（継続） ②　斐伊川流域との交流（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
イベントの企画	●		●	●	●		
イベントの運営	●		●	●	●		
広報、ＰＲ			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

・三瓶山周辺地区との交流

　大田市・美郷町との連携を図る

・上下流小学生の交流

　ダム見学会、水生生物調査、さつまいも収穫体験等での交流

・斐伊川流域との交流

　松江市、出雲市、雲南市等の市民との交流

・尾原ダムとの交流

　尾原ダム周辺で開催されるイベントへの有志の参加

　尾原ダム周辺市町住民との交流

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ１８：田舎体験　　（実施時期　中期）

インフラツーリズムを推進させる。

（既存）

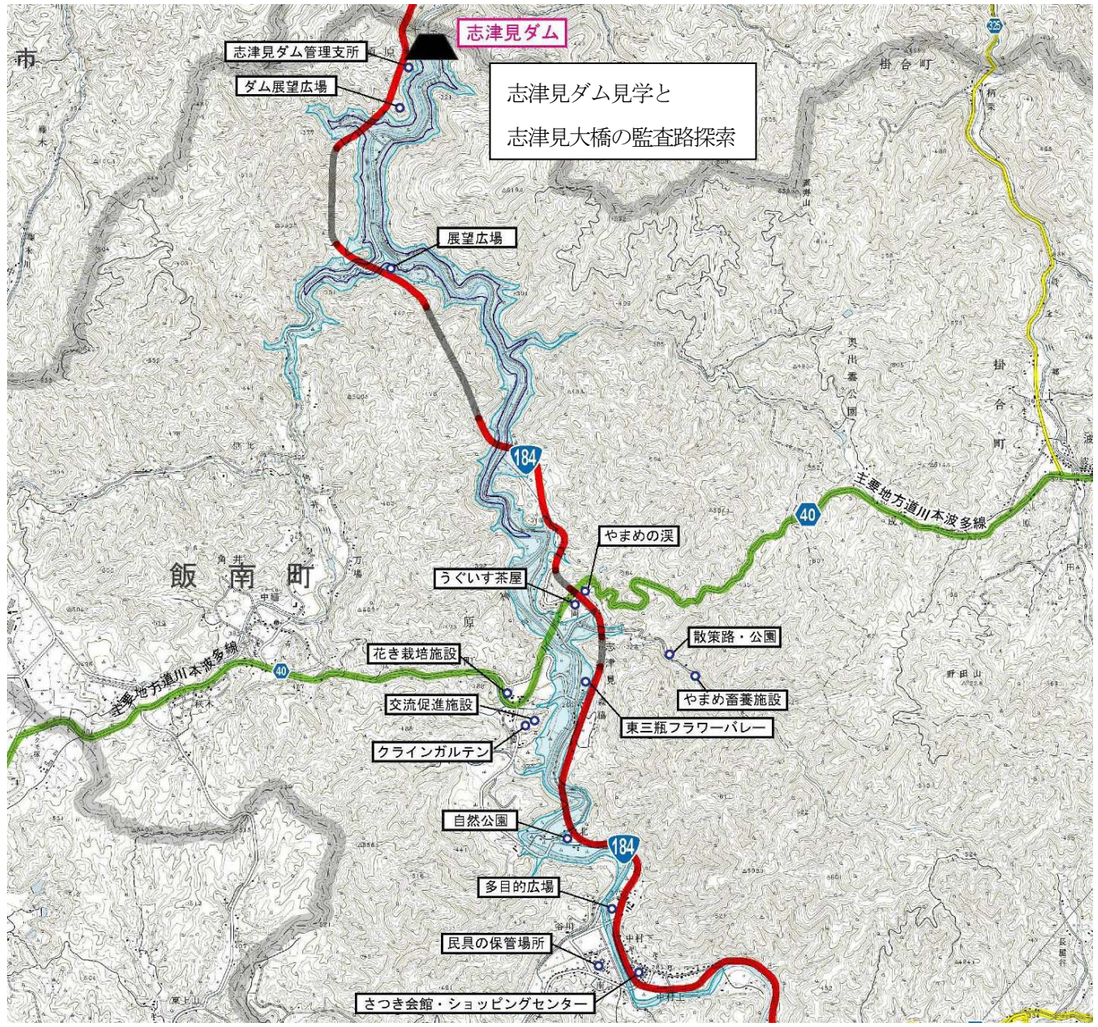
取り組み内容（全体）	目　的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進
	場　所	・島根県中東部
	内　容	・ダムを旅の目的と位置付けたツアーの開催 【他のアクションプランとの連携】 ・　ダム見学 ・　上下流交流 等との連携
Ｈ２６で取り組むべき事項	「okutabi」、「もりのす」との情報交換により、志津見ダムを旅の一つの目的地としたツアー企画の開拓	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
ツアーの企画						ダムの魅力発信	ツアー会社にて実施
ダム見学の計画・実施			●	●	●		
広報、ＰＲ			●	●	●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

・ツアー企画の策定協力

・見学会等の実施

・「しまねのどぼ旅」

開催日　　3 月 26 日

参加対象　　松江市、出雲市周辺の小・中学生

概要　　志津見ダムの中の見学と、松江高専の先生と一緒に橋について学習。見学だけでなく、実際に橋をパスタで作ったり、大きな積み木で橋をつくってその上を歩く体験も実施。志津見大橋では監査路も探検。

アクションプラン19：牧歌的な風景づくり　（実施時期　中期）

家畜の放牧

（新規）

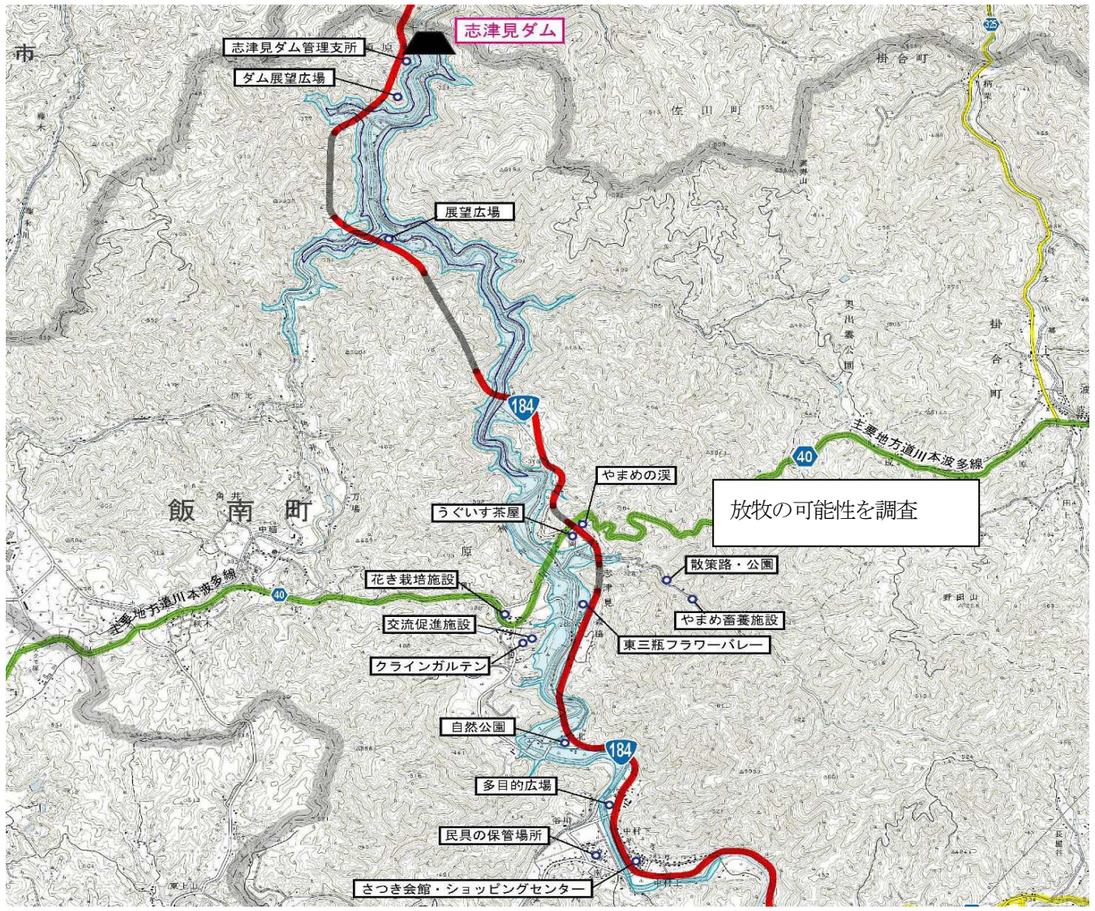
取り組み内容（全体）	目　的	・水源地域の新たな景観の創出 ・家畜を利用した除草等による景観の保全
	場　所	・河川敷内
	内　容	・　牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで新たな河川景観を創出するとともに河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 ・　家畜は借用するなどして試験的な取組や学習会などから始める。
Ｈ２６で取り組むべき事項	①　放牧の可能性を調査する（継続）	
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会	

実施項目と役割分担

実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備　考
牛舎建設位置の調査	●		●				
放牧の可能性の調査	●		●				
牛舎の建設	●		●				
放牧の許可等の検討			●		●		

注１：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注２：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注３：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1．放牧の可能性を調査、放牧に向けた協議・検討を継続

牛舎建設候補地の調査

牛の出荷